

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	安心して暮らせる、強しなやかなまち				
施策	安全で安心なまちづくり				
基本施策	防災力の強化				
取り組み事項	災害への備えの充実を図る				
主管部局	企画総務部 危機管理課	関連部局			

めざす暮らしの姿

防災力の強化

基本方針

過去の災害や新型コロナウイルス感染症などの教訓を踏まえ、被害を最小限に食い止めるために関係機関と連携し、情報提供体制や災害などへの対応力の強化を図ります。
安全で安心なまちづくりを推進していくために、消防・防災体制を充実させ、災害時に迅速かつ的確に対応できる、地域防災力が高く、災害に強いまちを目指します。

施策の方針

各種災害・感染症に備えるため、災害発生時または緊急時における迅速かつ的確な初動体制の確立、連携強化、物資の備蓄及び調達体制の充実に努めます。
避難行動要支援者に対する地域の支援体制の充実など、効果的な避難体制の整備を自主防災組織など関係機関と連携しながら取り組みます。

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	1.6	1.3	1.25	1.05	0.45	0.45
会計年度任用職員数	0.43	0.58	0.58	0.28	0.38	0.38
人件費計	11,464,018	10,794,348	8,978,811	7,888,874	3,877,546	3,877,546
事業費計	39,390,351	22,425,235	18,995,758	17,156,000	1,513,000	1,513,000
フルコスト	50,854,369	33,219,583	27,974,569	25,044,874	5,390,546	5,390,546

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	700,000	0			0	0
県支出金		220,000			0	0
市債					0	0
その他		479,000			0	0
一般財源1	50,154,369	32,520,583	27,974,569	25,044,874	5,390,546	5,390,546
一般財源2	38,690,351	21,726,235	18,995,758	17,156,000	1,513,000	1,513,000

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	防災訓練参加人数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	28,647	28,237	28,050	28,050	28,050	28,050
単年度実績値	28,237	28,050	27,244			
単年度達成率	98.56%	99.33%	97.12%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	防災訓練参加人数
前年度との比較	↓: 低下
所見	兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練に伴い、シェイクアウト訓練を実施した。参加については自治会へ回覧を依頼し周知を行った。

構成事務事業の事後総合評価

[illegible]

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
防災事業	
水防業務経費	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
防災訓練参加人数	97.12%	↓:低下	
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	97.12%	中	B:おおむね順調
	達成状況の原因分析、説明等		
	南海トラフ地震を想定したシェイクアウト訓練を市民が手軽に参加できるよう実施した。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	はい 計画的な防災備蓄品の整備、要支援者に対する地域が連携した支援体制の確立など、平常時における防災体制の充実に努めた。
構成事務事業に課題はないか	ない 図上訓練など、感染症流行にも対応した形式で少人数でも実施できる事業実施を引き続き推進する。
施策の総合評価	B:おおむね順調に進捗している 災害時の指定避難所用として、感染症対策用備品の整備を進めた。平時における防災対策は、今後も感染症の流行を見極め、状況に応じた対応が必要となる。
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	
今年度の成果等	市ではシェイクアウト訓練及び防潮門扉閉鎖訓練を行い、南海トラフ地震を想定した災害対応訓練を実施した。また、自主防災組織における訓練助成を行った。
第三者評価委員会意見	

施策評価シート

年度

5

1. 基本情報

まちづくり目標	安心して暮らせる、強くなやかなまち				
施策	安全で安心なまちづくり				
基本施策	防災力の強化				
取り組み事項	非常備消防体制の強化を図る				
主管部局	企画総務部 危機管理課	関連部局			

めざす暮らしの姿

防災力の強化

基本方針

消防団が持つ地域密着性及び即時対応力といった特性を最大限に活かし地域防災力向上のため、消防団員の確保を行い、非常備消防体制の充実を目指します。

施策の方針

消防団の装備の充実及び訓練の強化を図るとともに、消防団員の確保を行い、地域における機動力の維持に努めます。
また、西はりま消防組合との連携を強化し、非常備消防体制の充実を図り、地域防災力の向上に努めます。

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.8	1.05	1.1	1.2	0.0	0.0
会計年度任用職員数	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0
人件費計	5,851,707	8,471,772	7,586,144	8,977,656	0	0
事業費計	43,729,467	64,430,055	117,731,083	170,671,000	0	0
フルコスト	49,581,174	72,901,827	125,317,227	179,648,656	0	0

(2) 歳入

単位: 人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定国庫支出金		210,000	147,000	126,000	0	0
特定県支出金					0	0
特定市債		22,800,000	26,600,000	81,200,000	0	0
特定その他	6,846,564	5,535,000	49,371,000	12,602,000	0	0
一般財源1	42,734,610	44,356,827	49,199,227	85,720,656	0	0
一般財源2	36,882,903	35,885,055	41,613,083	76,743,000	0	0

3. 成果指標

(1) 成果指標

指標名	消防団員数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
単年度目標値	520	520	450	450	450	450
単年度実績値	499	503	443			
単年度達成率	95.96%	96.73%	98.44%	-	-	-

(2) 施策成果指標の結果に対する所見

成果指標	消防団員数
前年度との比較	↓: 低下
所見	条例定数の改正により、消防団員の定数を減少したが、消防団員の高齢化は、前年度と比較しても改善しておらず、今後も消防団員数の減少傾向は継続することが予想される。

構成事務事業の事後総合評価

事務事業名	事務事業担当者の評価	上位責任者の評価	総合評価
	担当者所見	方向性及び所見	

評価対象外の構成事務事業一覧

事務事業名	
消防団活動事業	
消防団運営事業	
消防操法大会等事業	
消防施設整備事業	
消防自動車等購入事業	

施策の事後総合評価

(1) 施策成果指標

施策成果指標	単年度目標達成率	前年度との比較	最終目標値に対する達成率
消防団員数	98.44%	↓:低下	85.19%
【総合評価】施策成果指標	単年度目標平均達成率(a)	達成度 ((a)による自動判定)	達成状況
	98.44%	中	C:努力を要する
	達成状況の原因分析、説明等		
	消防団員の高齢化が進んでおり、消防団員の減少に繋がったと思われる。		

(2) 施策の事後総合評価

当初方針の通りに進んだか	いいえ 消防団員の高齢化が進み、定数維持が困難であった。
構成事務事業に課題はないか	ある 若年層の入団者を増やす必要がある。
施策の総合評価	C:課題があり、対策する必要がある
施策の方針に対する実績、指標の達成状況の分析、今後の課題・方向性	現行は、消防団員自らが、団員を勧誘し、定数維持に努めていたが、今後は、現行の方策と並行して、積極的な広報活動で、入団者を募る必要がある。
今年度の成果等	
第三者評価委員会意見	

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	020102010001	事務事業名	安全安心のまち推進事業			
まちづくり目標	安心して暮らせる、強くなやかなまち	施策	安全で安心なまちづくり			
基本施策	防災力の強化	取り組み事項	災害への備えの充実を図る			
部名	企画総務部	課名	危機管理課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	防犯協会や警察等の関係団体と連携し、パトロールや啓発活動を通じて防犯意識の高揚を図る。また、ハード事業として、防犯カメラ等の防犯設備設置に対して補助を行う。					
対象	市民、相生市防犯協会					
目的	市民一人ひとりが防犯への意識をもち、犯罪のない安全で安心した生活を送ることができるまちを目指す。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令						

2. 事業費

(1) 歳出

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数		0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
会計年度任用職員数		0.05	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3
人件費計		749,065	1,057,922	1,098,235	1,273,388	1,273,388	1,273,388
事業費計		1,000,000	1,363,640	2,031,580	1,347,000	1,022,000	1,022,000
フルコスト		1,749,065	2,421,562	3,129,815	2,620,388	2,295,388	2,295,388

(2) 歳入

単位: 人、円

		実績値				計画値	
		令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	220,000	0	325,000	0	0
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他	0	479,000	0	0	0	0
フルコストー特定財源		1,749,065	1,722,562	3,129,815	2,295,388	2,295,388	2,295,388
事業費計ー特定財源		1,000,000	664,640	2,031,580	1,022,000	1,022,000	1,022,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名		【質】主要幹線道路等への防犯カメラ設置が所数					
単位		か所					
指標数値のめざす方向		増加					
年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値		6	6	7	7	7	7
単年度実績値		6	6	7			
前年比		—	100%	116.66%	—	—	—
単年度達成率		100%	100%	100%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		防犯カメラ設置1台あたりのフルコスト				
単位		円／台				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	291,510.8333	403,593.6667	447,116.4286	374,341.1429	327,912.5714	327,912.5714
単年度実績値	291,510.8333	403,593.6667	447,116.4286			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	警察等の関係団体と協力し、犯罪のない安全なまちを目指すため、防犯事業を実施する必要がある。	あり
有効性	B: 比較的有效である	防犯に関する広報、啓発を進めることで犯罪への抑止力となり、地域の防犯意識の高揚を図ることができた。	あり
効率性	B: 比較的効率的である	防犯カメラ設置予定のない年はカメラ設置用の費用を保留し、適切にコスト管理している。	あり
改革・改善プラン達成度	B: 比較的改革改善効果がある	令和4年度より簡易型自動録音機の配布を開始しており、市民の特殊詐欺等への意識の高揚を図ることができた。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	防犯ニュースの配信や、広報あいおいへの記事掲載などの啓発に努めている。	あり

(2) 総合評価

総合評価
A

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	防犯カメラについて、幹線道路や公共スペースへの設置を防犯協会が行い、安全安心なまちづくりを行うことができている。また、高齢者を対象とした簡易型自動録音機の配布及び自動録音機購入補助を行い、特殊詐欺防止を図った。
休止・廃止となったときの影響	防犯対策が疎かになり、犯罪の危険性が高まることで、安全で安心なまちづくりを目指すうえで悪影響が及ぶ。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	市民の継続的な防犯意識の醸成を図るため、引き続き実施する。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	020102010003	事務事業名	防災訓練事業
まちづくり目標	安心して暮らせる、強しなやかなまち	施策	安全で安心なまちづくり
基本施策	防災力の強化	取り組み事項	災害への備えの充実を図る
部名	企画総務部	課名	危機管理課
事業の開始		終了年度	なし
実施の概要	地域住民が主体となった水害等による被害を想定した避難経路や安全地帯等を確認など、より実践的な防災訓練を実施する。また、東日本大震災を教訓に津波被害を最小限に抑えるための津波対応訓練を実施する。		
対象	市民		
目的	各地域の実態にあった防災対策等について、市民自らが行動できるように防災訓練において、より実践的な訓練を継続して実施し、市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図る。		
事務事業類型	ソフト事業		
関連計画			
根拠法令			

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
会計年度任用職員数	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
人件費計	720,901	808,927	1,342,526	1,458,076	1,458,076	1,458,076
事業費計	0	0	0	10,000	10,000	10,000
フルコスト	720,901	808,927	1,342,526	1,468,076	1,468,076	1,468,076

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源						
国庫支出金	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	720,901	808,927	1,342,526	1,468,076	1,468,076	1,468,076
事業費計ー特定財源	0	0	0	10,000	10,000	10,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】防災訓練参加者数					
単位	人					
指標数値のめざす方向	維持					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	28,647	28,237	28,050	28,050	28,050	28,050
単年度実績値	28,237	28,050	27,244			
前年比	—	99.33%	97.12%	—	—	—
単年度達成率	98.56%	99.33%	97.12%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1	防災訓練参加者1人あたりのフルコスト					
単位	人／円					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	25.165	28.6478	47.8619	52.3378	52.3378	52.3378
単年度実績値	25.5304	28.8388	49.2779			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	地域が一体となり防災訓練を実施することで、防災力の向上につながる。	なし
有効性	B: 比較的有效である	防災訓練を実施することで、地域の危険箇所や避難経路を再認識するとともに、地域で連携することの必要性を確認することができる。	なし
効率性	B: 比較的効率的である	訓練に必要な資機材等は整備を行い、訓練内容等を工夫しコストの効率化を図る。	なし
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	感染症対策など、時代に即した内容を検討・実施する。	なし
透明性	B: 比較的透明性を確保している	自治会への回覧、防災ネットによるメール配信等を行い、訓練の実施及び参加を広く呼びかけた。	なし

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、大人数が集まる活動を積極的に実施できていない。今後は図上訓練など、少数単位で可能な訓練が有効となる。
休止・廃止となったときの影響	地域における防災力が低下し、災害時における適切かつ迅速な行動がとれなくなり、市民の生命に危険が及ぶ。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	災害時に一人ひとりが命を守る行動をとることができるよう、防災力の向上を図るため、継続して行う。

事務事業評価シート

年度

5

1. 基本情報

事業番号	020102010004	事務事業名	自主防災組織事業			
まちづくり目標	安心して暮らせる、強しなやかなまち	施策	安全で安心なまちづくり			
基本施策	防災力の強化	取り組み事項	災害への備えの充実を図る			
部名	企画総務部	課名	危機管理課			
事業の開始		終了年度	なし			
実施の概要	「自らのまちは、自ら守る」という理念のもとに市民で結成された自主防災組織に対して、訓練指導及び訓練補助を行う。					
対象	市民及び自主防災組織					
目的	平常時から自主防災に対する意識の醸成を図り、災害時にともに助け合うことのできる体制をつくることにより、地域住民の被害を軽減させる。					
事務事業類型	ソフト事業					
関連計画						
根拠法令						

2. 事業費

(1) 歳出

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
正規職員数	0.1	0.1	0.15	0.15	0.15	0.15
会計年度任用職員数	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費計	749,065	838,220	1,048,093	1,146,082	1,146,082	1,146,082
事業費計	97,162	91,984	254,410	481,000	481,000	481,000
フルコスト	846,227	930,204	1,302,503	1,627,082	1,627,082	1,627,082

(2) 歳入

単位：人、円

	実績値				計画値	
	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	令和7年度	令和8年度
特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
フルコストー特定財源	846,227	930,204	1,302,503	1,627,082	1,627,082	1,627,082
事業費計ー特定財源	97,162	91,984	254,410	481,000	481,000	481,000

3. 評価指標

(1) 活動指標

指標名	【質】自主防災組織組織率					
単位	%					
指標数値のめざす方向	増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	100	100	100	100	100	100
単年度実績値	99.5	99.5	99.7			
前年比	—	100%	100.2%	—	—	—
単年度達成率	99.5%	99.5%	99.7%	—	—	—

(2)コスト指標

指標名1		自主防災組織率1%あたりのフルコスト				
単位		円／%				
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
単年度計画値	8,462.27	9,302.04	13,025.03	16,270.82	16,270.82	16,270.82
単年度実績値	8,504.794	9,348.7839	13,064.2227			

4. 事後評価

(1) 評価のまとめ

評価視点	評価点	評価内容	課題認識
妥当性	B: 比較的妥当である	災害発生時における地域の防災活動は非常に重要であり、訓練補助を行うことで自主防災組織の積極的な活動を図る。	あり
有効性	B: 比較的有效である	自主防災組織による訓練の実施促進を図るため、より有効に事業活用してもらえるよう積極的、継続的にアプローチをすることにより、有効性は高まる。	あり
効率性	C: 効率性が低い	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多数での訓練実施が困難となったことで、組織内で実施についての引継等が行われていない現状がある。	あり
改革・改善プラン達成度	C: 改革改善効果が低い	図上訓練など、少人数で可能な訓練方法を推奨していく必要がある。	あり
透明性	B: 比較的透明性を確保している	年度当初に自治会へ補助事業実施の情報提供を行っている。	あり

(2) 総合評価

総合評価
B

(3) 方向性評価(担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	訓練助成を活用する自主防災組織も年々減少し、例年同じ組織が取り組んでいる状況から、他地域も活動を促進するための周知・広報活動が必要である。
休止・廃止となったときの影響	地域における防災意識が低下し、災害時の対応が遅れ、市民の生命と財産に影響を及ぼす。

(4) 方向性評価(施策担当者)

方向性	B: 現状のまま継続
所見	地域における防災意識を高め、相互に助け合うことができる関係性の構築を図るため、引き続き実施する。